



校報 徳田っ子

令和元年8月26日(月)

第7号

矢巾町立德田小学校



元気に過ごした夏休み、全員そろって始業式。



2学期順調にスタートしました。



2学期の決意 児童会副会長

楽しかった夏休みもあっという間に終わり、静かだった校舎に子どもたちの笑顔と元気な声が戻ってきました。夏休み期間中、大きな事故もなく全員そろって始業式を迎えられたことをうれしく思います。体育館に姿勢よく整列している子どもたちの表情は、充実した夏休みを過ごすことができたことを感じさせるものでした。

始業式では、目標を達成するためには「ちょっとずつ、毎日続ける」をことを大切にしてほしいという話をしました。できないことができるようになるためには練習が必要です。勉強でもスポーツでも習い事でも。取り組む時に「やったり、やらなかったり」

ではなく「少しでもいいから毎日やり続けること」が力を付けるコツです。2学期、子ども達が立てた目標に向かって努力するとき「ちょっとずつ毎日」を初めは3日間続けよう。そしてそれができたら1週間続ける。少しずつ続ける期間が増えればそれだけ努力する力が付いてきていることだと思います。どうぞご家庭でも子ども達の頑張りを「ちょっとずつ」褒めてあげてください。「最近頑張っているね。」「2学期、ちょっと変わってきたね。」など、温かい言葉が子ども達のエネルギーになります。学校でもご家庭でも同じスタンスで取り組めば効果倍増です。どうぞよろしくお祈りします

2学期も充実した生活を送ることができるよう教職員一同力を合わせてまいります。1学期同様、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

1・3・5年生で「人権教室」開催

8月23日(金) 矢巾町人権擁護委員の方が来校して1・3・5年生対象の人権教室が開催されました。

1年生では紙芝居を見せていただきました。主人公のももちゃんががうさぎさん、とりさん、かたつむりさん、ありさんなどに食べ物を半分ずつ分け与えます。すると、感謝した生き物たちがありがたいの気持ちでいろんな食べ物をお返ししてくれます。近くにいた太郎さんはこの光景を見て思いやりの大切さに気づく、というあらすじです。

1年生は真剣にお話を聞きながら思いやりの大切さについて学ぶことができました。3年生も同じく紙芝居で思いやりの大切さについて学びました。5年生はいじめられた人の気持ちと周りで支える友達の行動について考えるDVDでした。命の大切さについて学ぶことができました。この学習は毎年1・3・5年生で行われており、様々な人権について学ぶ貴重な機会となっています。学校ではこれからも機会を捉えて人権について啓発を進めてまいります。

